

小さな竹筒、最終効果を発揮

鈴木 武史 (花野井バプテスト教会・壮年会)



後援会のご奉仕に感謝いたします。花野井教会では、神学校献金は壮年会の担当で、神学校週間後の封筒献金を中心になっています。年間の献金目標額は、コロナ感染が広がる以前から9万円です。しかしコロナ感染の影響を受けてからは、壮年会のうどん作りは中止しました。特に前年度は、小さな竹筒に「うどん献金」のラベルを貼り、「うどんを食べたつもり」での、少額献金をお願いしました。

現在私たちは、新会堂建築中のために会議室を借りて礼拝を守っています。そしてこの小竹筒をそこに備えました。これにより、教会員38名のご協力で、目標額を超える92,000円の献金が集まり、貴校へは、46,000円を献げることができました。小竹筒が最終効果を発揮して、目標金額を超えることができました。神学校や神学生にお届けできて、神様もお喜びのことでしょう。前記で新会堂建築中とご紹介しまし

た。2025年3月に創立40周年を迎える記念として、2015年1月総会で会堂建替えを決断しました。この数年厳しい環境の中にも、伝道が順調に伸び教会員数も増えたのです。しかし近年の諸物価値上がりに直面し、経費節減のために工期を早めたり、建築規模の縮小も決断しました。これにより予定より早く、今夏8月に完成予定です。この地域の方々と共に歩みたいと願っています。

2022年度 後援会献金（個人）実績

● 後援会献金（個人）…… 122名・158件 合計 1,276,680円（前年度 1,269,000円）

芦沼光雄 伊佐山大智 井伊肇 井形英絵 井上昭子 井上政博 井東元(3) 菅岐基子 奥谷恭子 奥田光子 奥田厚子 奥田稔 岡田魁人 加山礼子 加藤郁雄(2) 加藤泉 角田秀明 角田芳子 釜池徹(3) 岩瀬礼 鬼澤寛 菊池順妃 吉原正子(2) 吉田壽宏(5) 久保公平 宮下めぐみ 古家克務 古根村聖子 古川博子(3) 高良研一 高柳美枝子 鴻野清美 今給黎真弓 佐々木宣子 佐川富美子 砂川真 斎藤美津栄 坂元幸子(2) 坂川里味 鮫島泰子 山形昌美(2) 山口宜由紀 山口慎子 山崎清美 山川許子(2) 山本弘夫 山本恵子 山崎美奈 四津明美 秋山信夫・純子(2) 十時節子(2) 勝俣昌也(2) 小出久美 小勝琢生 小松澤一枝 小柳隆司 松村誠一 松田健太郎 松田俊介 松田朝子(3) 松田美智代 松田美奈子(2) 上原克也 城田裕子 常廣澄子(2) 森山ひろみ 深澤和子 神山武 水尾謙作 瀬戸口早苗 星田恒 西方泉 青木節子 石垣茂夫 石水美佐子 川勝高宏(3) 川平朝清 浅野陽子 村上真由美 村上千代 対田澄子 大磯宏 大下仁(2) 大原広志 滝沢幸子 池内淳(2) 竹村紀彦 中根浄 中山恒彦 中澤なつみ 鳥飼好男 辻真理子 鶴ヶ谷芳昭 天野寛 田村俊彦 田村真由美 田中宣之 渡部富夫 都丸利子 藤田明子 内田泰亮 埜中寿郎・梨枝 柏いずみ 富田直美 富田信恵(2) 武宮陽子 福本綾子(5) 平井純子(2) 豊永義典 北野弘子(3) 木元和子 木原道雄(2) 木村晋治 木村一充・まどか 野尻明子 劉斐竹 林郁子 鈴木宗一・幸子(2) 鈴木明子 蓮香隆夫(2) 澁谷和美 澤田猛

● 後援会オンライン月々支援実績 …… 13名

小牧由香 村上千代 林雄植 奥田稔 蛭川潤子 美園和彦 城倉啓 秋山信夫 山本恵子 藤井秀一 小川紀良 岡村直子 作田公重

● 2022年度 教会・集会献金実績 …… 合計 3,448,827円（前年度 2,936,501円）

※詳細は神学校ニュース 5月号に掲載しています。

東京バプテスト神学校の働きを支援するために、あなたも「後援会」にご入会ください

- 1. 定期支援 個人会員：年額1口 ¥5,000 何口でも歓迎いたします
- 2. 自由献金支援 支援額も、支援回数もご自由にお決めください。

郵便振替口座 **00210-8-75658** 東京バプテスト神学校後援会

※専用払込票をご希望の方は、メールにてお申込下さい。



東京バプテスト神学校 後援会 NEWS

No.35

Homepage ▶ <http://tbts.jp> Mail ▶ seminary@tbts.jp

〒112-0012 東京都文京区大塚1-1-18 茗荷谷キリスト教会内 03-3947-5141
発行日：2023年7月26日 発行者：東京バプテスト神学校後援会 秋山 信夫

巻頭言

東京バプテスト神学校 後援会 副会長 **山岸 明** (仙川キリスト教会牧師)



主の御名を賛美します。

いつも東京バプテスト神学校（以下「東バプ」）、また神学生のためにお祈りとご支援に心から感謝いたします。神学校週間（6/25-7/2）では、西南学院大学神学部、東京バプテスト神学校、九州バプテスト神学校を覚えてアピールがされたと思います。ご存じのように東バプは三連立（北関東・東京・神奈川）の神学校です。一人でも多くの方が東バプを覚え、祈り、お支え頂ければと願っています。また神学校週間から11月までの間、神学生の派遣案内が神学校より各教会に届いているかと思いますが、ぜひ教会にて神学生を招いて頂き、学びの大切さや豊かな恵みを直接お聞き頂ければ、神学校がより身近な存在として感じて頂けると思います。さらに神学生の証しを通し、自分も神学校で学んでみたいという方が起こされれば嬉しく思います。

コロナ禍をきっかけに、東バプも対面授業からリモート授業に変わりました。それによってコロナ以前にはあまりな

かった地方の方の参加や、今は海外からでも学びが受けられるようになりました。対面授業もリモート授業もそれぞれメリット、デメリットがありますが、リモートにより多くの方が神学の学びに触れ、その中から献身者が起こされていくことも私たちの大きな希望です。

神学校では現代に生きる私たち（クリスチャン）が直面している問題をテーマにした特別講座やリモートならではのプログラムが生まれ、それにともない受講者も増えてきています。さらに後援会に加入して頂ければ受講料が半額になると

いう素晴らしい特典がついています。今までの振り込みの他にも、クレジット決済による一口500円からの支援もありますのでどうぞご利用ください。

最後に、在学生の減少により神学校をとりまく環境は厳しいものでありますが、皆さまの祈りと支援の中で2022年度も献身の思いをもって教会に仕えて行った方、また本科（3年）から専攻科（2年）に進まれた方がいますのでご紹介いたします。

これからもお祈りとご支援を宜しくお願い致します。

神学専攻科修了（1名）	小川 紀良	逗子第一バプテスト教会	所属教会にて奉仕
教会音楽専攻科修了（1名）	末永 美奈子	同盟 横浜南キリスト教会	所属教会にて音楽奉仕
神学本科卒業（5名）	上原 一晃	篠崎キリスト教会	神学専攻科へ進学
	遠藤 守	鮫バプテスト教会	神学専攻科へ進学
	林 大仁	ふじみキリスト教会	神学専攻科へ進学
	氷川 英俊	百合丘キリスト教会	神学専攻科へ進学
	松田 健太郎	教団 上星川教会	未定

500円からご支援できます! 後援会の会費が **月々500円から** ご支援いただけるようになりました。



ホームページの「後援会月々支援」のページで、クレジットカードを使ってご支援いただけます。

スマホやタブレットからもお手続きができますので、ぜひ皆様のお祈りとご支援をお待ちしています。

▲ **今すぐアクセス!** <https://tbts.jp/online-shien/> (後援会月々支援ページ)



神に導かれて

しぶたにかずみ
澁谷 和美

(愛知新生キリスト教会牧師)

東京バプテスト神学校後援会のお働きに心から感謝いたします。

さて、私は昨年12月に現在の教会に赴任いたしました。それ以前に2009年に沖縄の那覇新都心キリスト教会に教会主事として迎えていただき、8年間奉仕いたしました。その間東京バプテスト神学校本科・専攻科を卒業して1年後、沖縄バプテスト連盟の東風平バプテスト教会で協力牧師を昨年10月までいたしました。2009年から教会主事の働きと同時に沖縄クリスチャン学園（フリースクール）で小学生から高校生までの理科と数学を教えていました。2014年から2021年まで学園長として、規模が小さくなった学園で教えるうちに、さらに小規模で少人数で発達凸凹系の子どもたちや、学校に行きにくい、多集団では落ち着いて学びにくい子どもたちとかかわるようになり、多くの気づきと学びをもらいました。

那覇新都心キリスト教会では岡田有右牧師、富美子牧師夫妻との協働牧会（これは岡田有右牧師が後に表現された言葉ですが）でした。とにかく過密スケジュールにある岡田牧師夫妻のできにくいところを手伝うという形で、「私ができることは何か」といつも問いつつ行動していたように思います。教会主事とは何かも、十分分からないままでしたが（勿論連盟で研修を受ける機会を特別にいただきました）、仕事をしながら、教会が見つめていた教会組織に向かって、教会員と共に歩んでいった年月でした。最後にずっと献身者であった岡田牧師の

連れ合いが牧師として招聘されたことが、何よりも喜びでした。岡田牧師夫妻と一緒に腹の底から笑って、文句を言わせてもらったから続いたのだと思います。そして何より沖縄に住み続けられたことが感謝でした。

神学校との出会いは、沖縄に住んで2年目頃です。沖縄に来るまでは一信徒でしたから、学びが必要でした。ライブ授業や通信という二つのスタイルがあったから続いたのです。何とか専攻科に入れていただいて卒業ができましたのは、先生方、在校生の皆様と出会って学ぶことの喜びをずっといただいたからです。教会実習において、愛知新生教会と同じルーツを持つ「新生の民」である西原新生教会であったことも結果的に幸いをいただきました。

卒業後は岡田牧師夫妻のご尽力で、東風平バプテスト教会での奉仕の道が開かれました。2019年4月から始まり、7月に招聘を3年の期間限定でいただきました。もともと前任牧師が急逝され、その後教会員で献身された安里道直牧師を迎えるまでの繋ぎでした。その3年

間はコロナ禍にありましたが、結婚式やバプテスマ式、告別式と初めて司式を経験させていただく機会でもありました。またこの時に神学校の先生方を中心に教役者の説教の学びが始まり、新米牧師の説教作りにアドバイスをいただいたことは、時に適う主の備えに感謝しかありません。特に古川敬康先生の個別の説教分析は目からうろこの内容でした。

今度は主任牧師として奉仕させていただきたいとの願いが3年間の奉仕の終わりに向かって出てきていましたが、神はその願いを実現し愛知新生教会への道を開いてくださいました。東風平教会で卒業する安里牧師を迎えるにあたって、改めて牧師の招聘について、また就任式について共に学ぶ時をいただき、新牧師着任から10月の就任式と一緒に準備ができたことは、一つの区切りとしてありがたいことでした。

現在は新しい赴任地で新しい出会いをいただき、神様がどのような出来事を起こしてくださるか楽しみにしつつ2023年度を迎えております。



2023.4.9 イースター礼拝にて

“学ぶ” ことから 聖書の奥行きを味わいたくて

やまぐち ちかこ
山口 慎子

(常盤台バプテスト教会)

2022年教会執事になったこと、同時に時間が取れるようになったことを機に受講の思いを持ちつつも決断できずにいたところ、案内で山口里子さんの公開講座を目にし、かねて「新しい聖書の学び」に関心があったこともあり「聖書から聴く～多様な人が共に生きる教会」の受講を決めました。講座初日のオリエンテーションでは「どうすれば差別しないようにするかという考え方」が根本にあることを伺い、私も常にそうありたいし、聖書もそのように読みたいたいと思われ、半年の学びを通して思い込みや二元論で考えがちな自らの思考など多くの気づきを与えられました。

今年度は山口里子さんの『マルタとマリア』をテキストにした「新しい聖書の学び」を受講しています。聖書を「歴史的想像力」で読む、「注意深く批判的に読む」ことを通して、毎回新たな視点が与えられるワクワク感でいっぱいです。聖書を一人で読むことの豊かさもありますが、“学ぶ” ことから聖書の世界の奥行きを味わいたいと願っています。

いとう はじめ
井東 元

(横浜戸塚バプテスト教会)

個人的なことになりますが、私は東京神学大学神学部を卒業しております。神学校で学ぶ内容は膨大かつ難解です。説教は分かりやすく語ることが重要な要素の一つであり、神学の難しい内容は説教では直接使うわけではないものも多いのではないかと、そう思うこともありました。しかし教えられている先生方は実際に教会で牧師をなさっている方々であり、決して単なる興味などではなく、「教会の学」として必要なことを神学生たちに教えてい



たのです。そのことは東京バプテスト神学校においても同様だと思います。2023年前期にはオープンウィークに参加し、すべての授業の第1回を聴講させていただきました。ビデオ受講では ZOOM の録画を YouTube で視聴することができますが、どの課題も先生方と受講者の方々が真剣な学びをされており、とても良い刺激を受けました。神学校図書も充実しており、神学の学びにとって有益な神学書が多数揃えられており、後援会に入るとこの神学書を借りることができます。東京バプテスト神学校は神学を学びたいすべての人にとって貴重な存在でありつづけていると思います。これからも東京バプテスト神学校が主によって豊かに用いられるよう祈っております。

つるが や よしあき
鶴ヶ谷 芳昭

(大井バプテスト教会)

神学校の合唱の授業を3期連続して受講しています。毎期15回の授業が行われ、「合唱」に集まった方々と一緒に授業を受け、曲を作り上げていきます。そして、最後に教会音楽科の演奏会があります。曲は新生讚美歌と比べて難しいところはあります。しかし、的確な指導してくださる先生、そして、合唱を共に学ぶ方々がおられることによって、少しずつ難関のハードルを越えてゆくことができます。神学校の「合唱」は、単に、音楽的な難しさを超えて、各パートが声を合わせて歌うものではなく、神様をどうやったら賛美することができるかが大きな課題です。だから、一緒に合唱される方々と心を合わせて、詞の中にある言葉を伝えることが大切です。そして、「合唱」の授業の最後は教会音楽科の演奏会です。合唱の授業の成果を発表する時なのですが、合唱をする一人ひとり、この時を整えてくださった神様への賛美、それをどの様に「合唱」で伝えていこうか、練習中ではなかった緊張が生じます。15回の授業と一緒に歩んだ人たち、もちろん、指揮者とピアニストとを合わせた神様を賛美するチームとしての「合唱」です。そして、合唱が終わった後、神様、賛美のとおりですと感じるとき、これが「合唱」の成果、恵みであると思います。

